

「生活困窮者の現状について」

～過去から現代へ！社会福祉士は制度を活用できているのか！？～

1942年にベヴァリッジ報告書で「貧困、疾病、不潔、無知、怠惰」と報告されてからすでに80年の月日が流れ、日本でも湯浅誠氏が貧困を「貧乏+孤立」と述べてます。さて、我々社会福祉士は、「生活困窮者」をどのように捉え、どのような制度があるか理解し、どのように援助しているのでしょうか？社会福祉において深い考察が必要な「貧困」は、それぞれのいわゆる福祉領域で必ずぶつかる壁だと考えます。社会福祉士がこの壁を対象者とどのようにして乗り越えるか！？を研修委員一同頭をフル回転させて企画した研修となりました！！奮って参加してください！！なぜなら「貧困」を見つめることで、社会福祉士の意義、そして自分の人間観が垣間見れるからです！

日時

令和5年2月26日（日）13時30分～15時30分

開催方法

リモート開催 ZOOM使用

講師

社会福祉士 佐藤 岳彦 氏
(ワンファミリー仙台)

対象：宮城県社会福祉士会会員・生活困窮に関心のある方

定員：100人程度

参加費：無料

申込み：Googleフォームにて申込みください。

URL <https://forms.gle/GsGjDnRSsqjSHVqx7>

QRコード →



締切：令和5年2月16日（木）

問合せ：一般社団法人宮城県社会福祉士会

☎022-233-0296 メールアドレス mail@macsw.jp

※2月23日までに招待メールが届かない方は宮城県社会福祉士会までご連絡ください。